

# 第7号

# 自主防災だより

令和4年3月18日発行

## 令和3年度八戸市総合防災訓練

令和3年6月27日（日）根城地区（長根屋内スケート場、根城小学校、総合福祉会館）において、八戸市総合防災訓練が行われました。令和2年度は新型コロナウイルスの感染防止対策により訓練が中止となったため、2年ぶりの開催となりました。

訓練は、新型コロナウイルス感染症が発生している中、市内では震度6強を観測する地震が発生し、大津波警報が発表されたという想定で行われ、地域住民のほか、60の関係機関・団体などから約1,000名が参加しました。

自主防災組織としては、根城地区連合町内会自主防災会が参加し、避難者の誘導や感染症対策を踏まえた避難所開設・運営訓練を実施しました。

なお、次年度の総合防災訓練は、田向・南類家地区において9月4日（日）に実施予定です。



保健師による健康管理



避難所運営会議



簡易トイレ等の組立

## 令和3年度青森県・八戸市自主防災組織リーダー研修会

令和3年11月4日（木）、5日（金）の2日間、自主防災組織リーダー研修会を行いました。今年度は県主催の自主防災組織リーダー研修会と合同で開催し、1日目は、気象情報の活用や避難所・開設などについての講演、2日目は、自主防災組織の活動と役割についての講演に加え、地域の危険箇所を把握するため、実際に「防災まち歩き」を行い、その結果をマッピングした地図を活用して災害図上訓練（DIG）を行いました。



避難所運営のグループ討議



防災まち歩き



災害図上訓練

# 「八戸市避難所運営マニュアル」

平成23年に発生した東日本大震災では、津波警報に加え、断続的に続く余震と停電による不安のために多くの市民が避難し、ピークとなった3月12日の午前0時には、69か所の避難所に9,257名が避難しました。避難所では、各小中学校の教職員や各施設の職員、自主防災会、地域住民の方々による避難者の誘導や受入れなど、避難所運営に多大な協力をいただきました。

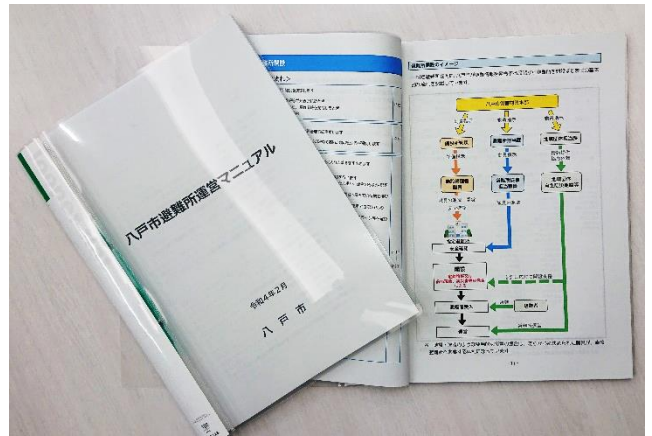
過去の大災害から、行政だけでは避難所の開設や運営が困難であることが明らかとなっており、内閣府が策定した避難所運営ガイドラインには、「被災者自らが行動し、助け合いながら避難所を運営する」ことが示されています。

当市においても、災害発生時には「自分たちのまちは自分たちで守る」という考え方を基本に、「自助」「共助」「公助」が互いに連携し、市職員だけでなく、避難所を利用する地域の方々や施設管理者の協力により、避難所を運営することとしております。

災害時の避難所開設・運営をスムーズに行うため、避難所の基本的な考え方や運営の活動内容、運営にあたって気を付けて欲しいことなどをまとめた「八戸市避難所運営マニュアル」を各指定避難所に配置しておりますが、この度、新型コロナウイルス等感染症対策や国が策定した避難所に関する取組指針等を踏まえ、マニュアルの改訂を行いました。

本マニュアルを参考に、平時から避難所運営に向けた話し合いや訓練等を行っていただき、いざという時に備えて事前の準備と体制づくりを進めていただきますようお願いいたします。

※ 本マニュアルは、市ホームページに掲載されております。



## 令和3年度八戸市自主防災会連絡協議会 理事会・総会

令和3年度の第1回理事会及び総会は、書面会議により開催し、昨年度の事業報告及び本年度の事業計画、また、北部・西部A・東部Bブロックから選出された新たな理事について承認されました。

令和4年1月19日（水）には、第2回理事会を開催し、第2回総会について審議を行いましたが、新型コロナウイルス第6波の影響により、年度内に予定していた総会を延期することが決まりました。

## 八戸市の自主防災組織について

八戸市内の自主防災組織の団体数は町内会を母体とする組織、女性消防クラブを母体とする組織をあわせて、令和4年1月末現在で84団体となっています。自主防災組織の活動カバー率（活動範囲の世帯数の割合）は、88.3%（96,754世帯）で、全国84.3%（R2.4.1日現在）及び青森県 55.8%（R3.4.1現在）を上回っております。

八戸市では、補助金制度による自主防災組織の支援を行っており、これまでに「自主防災組織育成事業補助金」では48団体が防災資機材を整備、「自主防災組織活動支援助成金」では、今年度16団体が各種防災訓練などの活動経費に補助金を活用しています。

これらの制度を有効に活用しながら、これからも地域の防災力を高めていきましょう。

# 地域の防災活動

～令和3年度に各地域で実施した活動を紹介～



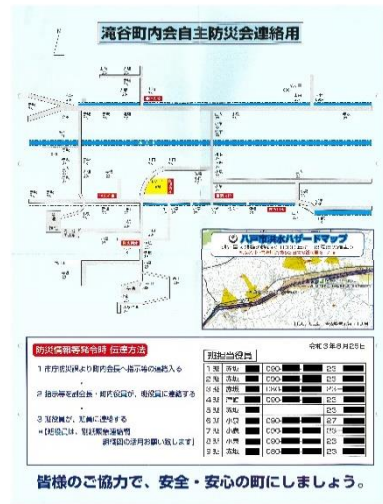
R3.8.29 避難所開設・運営訓練 (三八城公民館)  
沼館・城下地区防災会



R3.10.4 避難所開設・設営訓練 (白銀南中学校)  
岬台連合町内会自主防災会



R3.10.24 避難所器材活用訓練 (多賀台小学校)  
多賀台連合町内会自主防災会



R3.11.3 防災マップ作成 (滝谷地区)  
滝谷町内会自主防災会



R3.11.6 夜間を想定した防災訓練  
(三八城公園)  
三八城地区防災会



R3.11.28 自宅の防火対策についてグループ討議  
(吹上公民館)  
春日町地域自主防災会

※各地域で実施された防災活動の一部を抜粋して掲載しております。



理事選出 9ブロック	地区自主防災会
1 北部 ブロック (8団体)	青森ヒューム・長者久保自衛防火隊、多賀地区連合町内会自主防災会、高森自主防災会、多賀台連合町内会自主防災会、多賀台二丁目町内会自主防災会、高屋敷自主防災会、尻引自主防災会、轟木学区連合町内会自主防災会
2 西部 Aブロック (5団体)	しもなが安全安心ネットワーク、アスネットねぎし自主防災会、高館地区連合町内会自主防災会、河原木団地連合町内会自主防災会、八太郎町内会自主防災会
3 西部 Bブロック (12団体)	鷹ノ巣地区自主防火隊、高岩自主防火班、田面木地区連町自主防災会、根城地区連合町内会自主防災会、松園町地域自主防災会、館地区連合町内会自主防災会、上長地区自主防災会 北白山台自主防災会、白山台連合町内会自主防災会 滝谷町内会自主防災会、永福寺町内自主防災会、八幡町内会自主防災会
4 中央部 Aブロック (8団体)	三八城地区防災会、類家四丁目町内防災会、柏崎地区連合町内会自主防災会、小中野地区自主防災会、江陽地区自主防災会、沼館・城下地区防災会、類家連合町内会自主防災会、長根町内会自主防災会
5 中央部 Bブロック (10団体)	糠塚防災会、中居林地区自主防災協議会、番屋地区自主防災会、是川自主防災会、春日町地域自主防災会、栄町町内会自主防災会、積善町町内会自主防災会、鍛冶町自主防災会、本鍛冶町自主防災会、是川団地町内防災会
6 東部 Aブロック (7団体)	湊高台連合町内会自主防災会、IS(岩淵・塩入)町内自主防災・防犯会、岬台連合町内会自主防災会、白銀地区自主防災会、湊地区連合町内自主防災会、大久保地区自主防災会、白銀台六丁目町内会自主防災会、
7 東部 Bブロック (5団体)	旭ヶ丘町内連合会自主防災会、町畑地区連合町内会自主防災会、花生町内会自主防災・防犯会、中町町内自主防災会、大館地区自主防災会
8 東部 Cブロック (7団体)	白浜町内自主防災会、深久保町内自主防災会、鮫地区自主防災会、法師浜町内自主防災会、大久喜町内会自主防災会、種差・棚久保自主防災会、金浜地区自主防災会
9 南郷 ブロック (5団体)	第四区安全安心自治会、島守あらや地区自主防災会、島守第十区自治会自主防災会、南郷西地区自主防災協議会 島守第十二区自治会自主防災会

令和3年度は、新たに  
**八幡町内会自主防災会**  
が設立されました。

**みんなでコロナ禍を乗り切ろう！**



## ほっとスルメール（八戸市安全・安心情報メール配信サービス）

避難指示などの緊急情報や気象、火災、防犯、交通安全、消費生活、感染症、ライフライン（電気、ガス、水道）に関する地域の情報を、皆様の携帯電話やパソコンに電子メールでお知らせします。また、スマートフォン向けのアプリもありますので、未登録の方は、是非ご登録ください。



電子メール登録用QRコード  
※読み取り、空メールを送ると登録案内のメールが届きます。



iOSアプリ用  
(iphone)  
QRコード



アンドロイド  
アプリ用  
QRコード

発行先：八戸市自主防災会連絡協議会（事務局：八戸市市民防災部防災危機管理課）  
〒031-8686 八戸市内丸1丁目1-1 市庁別館2階  
電話番号：0178-43-9225 FAX：0178-45-0099  
電子メール：bousai@city.hachinohe.aomori.jp